

事業所名

にじいろPROGRESS

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

12日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもの個性を未来へと繋ぐ架け橋となる」 ・「専門性」を活かし安心を届け社会に貢献する。 ・「利他の心」をもってお互いの信頼関係を築く。 				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの限りない可能性をみらいへと架け橋できる支援をおこないます。 ・一人ひとりの成長発達の中で「社会的自立」「精神的自立」ができる力を育てます。 				
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・通所後のルーティン（手洗い、検温など）が出来て、定着できるように声掛けを行う。自分の持ち物の確認や、身支度が身につくように見守りを行う。 ・学習が習慣化するように、「すらら（障がい児成長支援協会推薦教材）」や「いーらほ発達支援教材」など個別にあった学習方法の提供を行う。 ・自分で遊んだおもちゃ等は片づけを行ってから次の遊びを行うように支援を行う。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員が見本を見せたり、声掛けなどをして座る姿勢を整えていく。帰りの会の際などには、姿勢確認を都度行う。（姿勢保持） ・指先を動かす感覚を養うため、工作、お絵描き、LEGO、LaQなどを自由遊びに提供。 ・バランス感覚や柔軟性を身につけられるよう、トランポリンのイベントを実施。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の意識をできるように視覚化タイマーや、アラーム等を用いる。 ・1日の流れをホワイトボードに記入し、環境設定を実施。行動につなげるという発達過程の支援を行う。 ・子どもの認知や特性に応じ、自己肯定感や人権を意識した声かけや促しをしていく。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の向上を育むために、挨拶や自己紹介の機会の提供。他者の名前を覚え、相手へ適切な呼び方が出来るよう促す。 ・頑張ったことや楽しかったことを毎日の帰りの会で発表し、自分の考えを言葉にする力を育む。 ・学習支援において、「分からないこと」を質問することでコミュニケーション能力を育む。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員を介して、他児との信頼関係の芽生えを育む。 ・1人遊びから共同遊び等へ移行していけるように、小集団参加への支援を行う。 ・定期的実施されるイベントを通じて、集団参加の機会を設ける。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルシステムを用いた連絡帳で情報交換を行う。 ・保護者会や保護者参加可能なイベントを実施する。 ・送迎の際など対面での情報交換を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・次学年への円滑な移行のため学習の遅れをサポートする。 ・同法人内の中高生向け事業所や就労支援の事業所への移行を行う。 ・学校外での仲間作りをサポートする。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童館や公園活動で地域交流をはかる。 ・必要に応じて学校や医療機関等との担当者会議を開催する。 ・適切な支援を提供するため相談支援事業所と連携する。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月外部講師を招き、職員力量向上の研修を行う。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会、社会見学、工作イベント、調理イベント、運動イベント、避難訓練など 				